

福新新聞

五月廿七日 第三千九百九十九號
（價）一紙十錢 三個月三十錢 半年六十錢 一年一百二十錢
（發行所）福新新聞社
（印刷所）福新新聞社
（電話）市島 三三三
（郵便）市島 三三三

一躍人口貳千を増加する

片倉 工場新設を祝す

炭礦の不況は平町民を自覺せしむ

舉町一致是が實現に當たれ

井上氏献身的の努力

炭山 の不況に左を有する平町に一大工場を建設は事實と決し敷地の右せられつゝあつた平町は建設せんとするの機運を醸成して迄進捗して来た然し餘りにその天恵に馴れ過ぎ成し着々具體化するに至つて最早工場の實現は單に時今日迄工業地として生きた事は誠に慶賀すべき事と間の問題となつて居るがとするの意志を有しなかつ云はねばならぬ此の問題は事をして、茲迄進捗せしめたが打ち續く財界の不況に平町消防組頭井上茂作氏がたる井上氏の努力奮闘は蓋崇られ平町の金庫とも云ふ

片倉 製糸株式會社し推賞するに詞なきものでべき炭礦も甚だ振はずその長片倉脩一氏と別懇の關係ありこれに共鳴して運動を影響は一面昨今青菜に鹽のあるに因りて同氏から會社開始せし町當局町會議員の情れ方をして居るが漸やくに對し工場建設方を交渉盡力も亦多とせねばならぬ

炭山の不況に際しては場の新設事業の擴張等は斷 **由來** 福島縣は養蠶他にこれが補填の事業を興じて行はぬ方針の下に初め國として全國に名譽を博し

防止 せんと努むる心の態度を持して居たが井上氏に次ぐ不良養蠶國となつに至つた結果識者間には上氏の説得頗る熱心にして居る是は模範的名譽の何れをばばんに腐心し遂ひに町會一致これが實現かぶれ蠶桑園の改良品種のつゝあつた折柄東洋一の稱を切望するに至らしたる統一改善を怠つた結果である片倉製糸株式會社が先力に對し片倉側も漸やく耳ある是れは甚だ遺憾千萬なるに郡山に工場を有し優秀な籍に至り重役會議の **開催** を見て幹部のは約四十五萬貫と稱せられ昇格せしむべく社殿の新築

必要な燃料に比類なき地位向聴取と進み今日にては工爲めに一貫につき三十錢竣工を見るに至つたので過

安を以つて取引され一ヶ年般來これが一大祭典を催すの損失實に十二三萬圓の巨べく準備に着手し毎年五月額に達して居るこの損失を八日を例祭日として居たが助くるには是非共堅實なる本年に限り縣社昇格を祝し

製糸 場と取引を開き今月末選宮式及御興渡御祭始するにあらずんば他に良をかね大祭を行ふ事となり策なしとし養蠶同業組合一目下町幹部はこれが準備に致して製糸場の建設を希望忙殺されて居るが當日は全しこれが實現に對しては單町藝妓組合主催の餘興入山に資本家のみに負擔を強い炭礦の後援等で近來稀に見す地方の繁榮の爲めに同業者の盛況を呈すであらう

者として相當の出資を斷行して實現に努むるの方針で會社側に交渉を進めたのであるこれは時代が斯うあらしめたには違ひないが

一つは炭山の不況に農民が自覺するに至つた事が最大原因があつて平町としては工場建設は優に人口二千

幸福 と云ふべく一工場建設は優に人口二千を増加しこれが生活上に於ける必需品は何れも平町の供給を受けねばならぬので將來の利益は殆んど数字に顯はす事の出来ない

般盛を示すものであると云つて居るが、平町の好不況が當に炭礦の夫れに左右せられ鼻息を覗ふに窮々たる現狀から幾分でも救はるゝ事は町發展の上よりするも舉町一致これが實現に大努力を拂はねばならぬ

川瀨炭礦に

福神舞込む

石城郡赤井村川瀨炭礦常磐炭礦所へ突然本月中旬東野總一郎氏が川瀨幸治氏宅を訪問した驚いたのは川瀨氏で突然の訪問が何んのか

川瀨炭礦に福神舞込む

淺野翁の視察

石城郡赤井村川瀨炭礦常磐炭礦所へ突然本月中旬東野總一郎氏が川瀨幸治氏宅を訪問した驚いたのは川瀨氏で突然の訪問が何んのか

見事な福神舞を披露した川瀨炭礦の常務理事川瀨幸治氏は、この訪問に際して、炭礦の現状と、福神舞の趣意を詳しく説明した。浅野氏は、炭礦の発展と福神舞の盛況を聞き、大いに感心された。

經營費に損ある

磐城無盡商會

前期繰越僅か四百圓 風呂敷擴げてくゝりなし

石城郡植田町に所在する比し低額を示して居るが同磐城無盡商會は湯本町所在商會が堅實なる基礎と地盤の湯本無盡株式會社と並びを擁しながら斯く成績の顯るに於ける二つの金融はれざるは要するに經營費機關であるが一方湯本無盡に多額の支出を餘儀なくせが相當の成績を挙げつゝあられしに起因し恰も風呂敷敷るに對し創業彼より一ヶ年を擴げて括なきの有様で小早やく濱三郡に手を延ばし宅會長は平氣で居られまい

到る處に支店代理店のなきとの説がある

湯温泉神社

縣社に昇格

湯温泉の鎮守神社たる温泉神社は町民一致縣社に今日迄利益の配當更になく前期の繰越僅々四百圓に過ぎざる状態である而して契約高の如きも湯本のそれに

石城郡豊間村

大敷網

事務所

石城郡豊間村大敷網事務所

須賀川町役場

町長 大沼正一
助役 寺田勝二

牡丹園主

柳沼源太郎

須賀川町

須賀川町 電話二一九番

須賀川町電氣部

電話一〇二番

公立岩瀨病院

電話三八番

須賀川銀行組合

須賀川銀行
橋本銀行支店
二本松銀行支店
興業銀行支店
郡山銀行支店
白河實業銀行支店

入山炭礦の誠意奈邊にある？

ヘテン？ゴマ化？

(前承)

◆ 賠償金の支拂期限後二ケ年
 ◆ 三ヶ條の契約中一項は……
 闇に動く策士の群

湯本温泉の死活問題について本社が指を染めし以來精査するに至つた。然し本社は決して同町の自治を破壊し町團満を陥害するものではない。湯本温泉が眞に温泉地として活き發達の盛衰を來すべき策があるならば本社はそれに向つて微力を致すに吝ない。只同町は入山炭礦によつて種々の關係が生じ利害相反する事情に措かれて居る仍つて吾人の想像し難きはる複雑した事實が潜在して居る果してそれをキリ切する事が善であるか將た同町を害するものであるか最も慎重に考究すべき問題である。本社は暫らく事實の報導についても前號に投じた一石の及ぼす波紋を眺めつゝ同町發展の爲め一臂の力を盡し度いと思ふ。

湯本

入山炭礦所長の採掘問題は左の三項である。その行政裁判所長澤田評定一、入山炭礦は大正十年以降の三條で此の内第一は既に最も重大なる關係を有する。官佐野博士を始め鑑定者相互辯護士來湯七日間滞在して井水の状況地盤毀裂の實情等を詳細調査し最後の斷案を降すべく参考資料の蒐集を終つたが同町が愈々掘鑿する事に判決の暁は再び湯本温泉の名稱を誇號する事は不可能に終るものである。然るに此の問題は同町の重大なる死活に關する事件であるに拘らず甚だ



氣勢の擧らざるは以て奇怪とすべくその間一抔の暗影を認めざるを得ない。元來同町對入山炭礦との間に於て警約された同町保全に關する契約は十數ヶ條であつて大正十年相互調印を了し實行に着手したものと

次第設備をして無償提供との事がある。就中 第二項に於ては最も重大なる關係を有する。向ふ十ヶ年間年額一萬七千圓を同町に對しを支拂ふ事。温泉水の源泉を發見した場合は掘鑿して同町に提供し、同町飲料水たる水道にとするも第二、第三に至つては信せんとするも能はず。就ては有望の水源を發見しては信せんとするも能はず。然し第一項は信するに足る關係に密接なるものでこれにひつゝある状態を眞に同町發展と將來の爲めに動か

偶などに意見があるものか、新米のホヤ／＼下碌な考へなどはないサ、注文する方が無理だよ。と要心深かい處に性格の片鱗が覗はれる。筆者と對談するにも寡言問はれて初めて口を開く邊、仲々要領を得たものだ、時恰も廢兵と稱する

奇怪 極まる風説が産れ出づるに至つた町の幹部と稱する者の内には硬軟二派に別れ互に説をなし相反目するとは云へ雖何れも我社は近く開かるゝ行政裁判の判決を見て一層明かにひつゝある状態を眞に同町發展と將來の爲めに動か

ふ、計劃に密にして聊かも輕ろんせざる所敬服に値する。氏は賢夫人を擁して令名あり、産あつて亦内助の賢婦を占む、多幸多福と云ふべきか？ 餘技として漫書を好くし岡本一平裸足で逃げ出す態のものがある、宣傳半分と見

東北の名湯 玉子湯旅館 高湯温泉(岩代信夫郡) 後藤 寅治 福島より西四里奥羽線庭坂驛より二里車馬の便有 吾妻の山腹にありて眺望佳良なり 弊館は萬事に注意し毫も御不便なき様親切丁寧を本意とす

福島縣平町 鹽屋山崎合名會社 電話 營業部 二一〇番 工場部 二一七番

銀行合同問題の批判 無限責任の勇氣ありや

ぬる湯 脳病と眼病。幼著し。淋病、梅毒、水傷、創傷、子宮病、皮膚病等に好し。當温泉は親切。館主 二階堂 伊藏 福島市より西南四里奥羽線庭坂驛より二里

洋式宴會 山 板谷 あか はんぼうのできるゆ 羽前 五色 温泉 泉 △當温泉は浴用と内服用として効驗著し △當温泉は海拔三千尺眺望佳絶空氣新鮮

福島縣石城郡 好間村大字北好間 中根鑛泉 石井旅館 平町 三井呉服店 表現ゆかた地(一反毎に懸賞 投票券呈上 季節品階上に陳列してあります) どうぞ御誘合の上御来店下さい

である既に 湯本町字三國地内には從當然と見るべき一觀測であら試掘又は採掘の出願を 入山炭礦の物に對してなされる事 尚ほ開知精採せる事實なしとせず然れども前吉本所長迄には同町に於て湯本保全 頗るデリケートのものあり同盟會が大正八年五月設立 輕卒に斷案を下すべきにさるゝや同年六月九州地方 あらざれども同町の試掘願の炭礦地に委員を特派し 賠償が入山所長としての吉本氏償程度の實際を視察し大正の 名義によつてなされれば九 九年兩院に對し温泉保護法 今日何等訂正されざるを見の制定を請願し採擇となる れば其間の消息は自然諒察や翌十年漸やく前記保障契 するに難からざるものと云の實現を見たので多大の ぶべく表面に強硬の論を唱犠牲をこれに支拂つた事は ふるも裡面策士の暗中飛躍事實である然るに當初の意 によつて弄絡さるゝ例は尠氣込は最近に至つて殆んど なしとせず湯本町の幹部な夢散せしかの觀ある其處 なる者に此の比を見ずとせば幸福譽ふるに物なしと云ふ

涼味溢るゝ 夏の粧ひ! 浴衣地陳列に集ふ人氣 スター好み 音曲ゆかた地(一反毎にプロ 婦人世界賞讚) 表現ゆかた地(一反毎に懸賞 投票券呈上 季節品階上に陳列してあります) どうぞ御誘合の上御来店下さい



福島縣平町
鹽屋山崎合名會社
電話 營業部 二一〇番
電話 工場部 二一七番

銀行合同問題の批判 無限責任の勇氣ありや

逆宣傳は全くこまる
磐越銀行頭取 中野甲藏氏談

銀行の合同問題は日銀付があつて整理に苦しんで努力によつて着々實現さるるが、實に銀行に於けるこれが實に早晩成立するものと見られて居るが、仲々抄りぬせしめらるるには閉口頓首事だけは事實である大銀行せざるを得ない。は自己の勢力を吹聴して小合同も良い然し合同を銀行を合併してやると云ふ責任を承認せねばならぬ態度に出で感情上甚だ面白からざるものがある。

英米の先進國が一行主かその勇氣さへあれば合同義を遵守し相當の成績を擧げつゝあるが故に我國も此に追従せねばならぬと云ふ理由はない彼れと我とが各自私情を挟まず眞に株經濟組織に於て相違の點が主及一般顧客に對し重役があつて一様には行かぬ地方の無責任は出來なはす夫れ、必要な條件の下に經營されて居るもので中野氏は批判の一端を漏らした

新緑に匂ふ 浴衣姿

夏は、最もゆかしく美しいものであります。夏線の現はれは、その柄行が合同すべき銀行同志が對等の態度を持し能はずしと色彩によつて一層引き立て資本の大小に依つて恰も併呑するが如き感念を有し若しこれに反對又は躊躇するが如き場合は、忽ち逆宣傳を放ち彼の銀行には不正貨を流行に連れ、じと常に顧客

ぬる湯
二階堂伊藏
東北の名湯
王子湯旅館

近大漁節の音も聞かん
活氣つゝ漁場
今年遅れたが豊漁
沖を眺めて腕に撚り

天下に冠たる
須賀川のボ丹
全町空前の賑ひ

大改革
磐城炭礦の大改革
時機を見るに敏
將來有望に轉化

東北の名湯
王子湯旅館
高湯温泉(岩代信太郎)後藤寅治
福島より西四里奥羽線坂本より二里車馬の便有

努力する
一の井主人の希望
平に下車した者の目に

大改革
磐城炭礦の大改革
時機を見るに敏
將來有望に轉化

大改革
磐城炭礦の大改革
時機を見るに敏
將來有望に轉化

石井旅館
山系板谷
あかんぼうのできるゆ

洋式宴会
の井
電話 一三六七番

銘酒 清福
田吉
電話 一三四番

銘酒 嵐山
電話 一〇三〇番

嵐山酒店
電話 一〇三〇番

柴田書店の窓から

一般に讀書慾がない柴田徳二氏の談平譯を控へ四丁目の中央部目抜の場所に店舖を構ゆる柴田書店は平町讀書界の趨勢を知るに最も恰好のものである。

店頭には何時も男女學生の群れや官吏の一團が思ひ思ひの新刊書を手にして読み耽つて居る。同店主柴田徳二氏は理智の瞳を以て趣味の流れを観詰めつゝ斯く語る。

一般に平は讀書慾が旺盛でない様に想はれます、婦人雑誌としては婦人俱樂部主婦の友婦女界等が首位で幾分硬たい婦人公論などは餘り出ません、男子ものでは改造現代が喜ばれ中央公論は下火になり文藝春秋の發行は素晴らしいものです

一時學生界を風靡した文章世界、新潮などは一蹴されて了みました娛樂部としては講談俱樂部の領域はキング富士に壓倒された氣味です實業之日本は不變の地盤があり實業之世界は氣まぐれの統計を辿つて居ます

新刊物は註文に因りて取り寄せる有様で圓本の賣行は流行として相當の成績を擧げて居ます中女學生の書籍購買力は土地柄味で水戸などの脚下にも及びますまい……云々とあつて概して平町は讀書慾低いものであると。

山野邊氏とナマズの哲學

蓋し平町の珍寶だ山野邊藥局の御主人公山野邊東次郎氏——と云へばアあの變り種かと直ぐ合點の行く程有名である。

象の脚に等しい大きなズボンを履いて印絆天を一番に及び分捕品と誇號する桑のパイプをくわへて大道を眺めながら、考ふるにあらす考へざるにあらざる風貌を見せながら、一度口を開けば大臣糞喰への怪氣焰要領を得せしめず得るの妙語は他人の爲し能はざる所風貌餘りに似て掴み所なく而かも骨は反して硬直な有様は餘哲學の泰斗と云ふべく小人の與みし能はざる風味がある蓋し平町の一珍寶であらう。

電療界の權威 快精療院

安藤院長の手腕 オキシヘラー又はラデオレーヤー等の電氣治療は古くから世人に知られて居るがその効果については甚だ理想的でないものがある然るに日英佛獨の各專賣特許權を有する野一色電療は從來の電療と全く類を異にし萬病一元物理的療法として偉大なる効果を現はしつゝ、あ

祝改題

伊達郡飯野村 村長 鈴木 澤吉
伊達郡大久保村 村長 古關 要作
伊達郡富田村 村長 菅野 藤之助
伊達郡福田村 村長 八卷 喜與八

祝改題

伊達郡飯野村 村長 鈴木 澤吉
伊達郡大久保村 村長 古關 要作
伊達郡富田村 村長 菅野 藤之助
伊達郡福田村 村長 八卷 喜與八

祝改題

伊達郡飯野村 村長 鈴木 澤吉
伊達郡大久保村 村長 古關 要作
伊達郡富田村 村長 菅野 藤之助
伊達郡福田村 村長 八卷 喜與八

法に因つて全癒した名士は頗る多い實例として釜屋商店主人諸橋久太郎氏の永年中風症は二月月を經過した今日既に歩行の自由を得つゝあるに徴するも明かであり何等の苦痛を覺へず寧ろ神祕的快感を得つゝ全癒する事から従來のそれと類を異にするもので婦人病打撲傷神經系病等は最も短時間で全治せしむる靈妙な作用を有して居る百聞一見に如かす一度の試験を爲す必要がある。

植田町草分の山田屋別館

淺酌低唱に良し
植田町の山田屋と云へば同町草分けの歴史を有し現在經營者たる下山武助氏は既に四代を繼いで業務益々榮へつゝある別館は四ヶ月前開業したもので一室毎に獨立し決して遊興中願を

祝改題

伊達郡飯野村 村長 鈴木 澤吉
伊達郡大久保村 村長 古關 要作
伊達郡富田村 村長 菅野 藤之助
伊達郡福田村 村長 八卷 喜與八

祝改題

伊達郡飯野村 村長 鈴木 澤吉
伊達郡大久保村 村長 古關 要作
伊達郡富田村 村長 菅野 藤之助
伊達郡福田村 村長 八卷 喜與八

祝改題

伊達郡飯野村 村長 鈴木 澤吉
伊達郡大久保村 村長 古關 要作
伊達郡富田村 村長 菅野 藤之助
伊達郡福田村 村長 八卷 喜與八

祝改題

伊達郡飯野村 村長 鈴木 澤吉
伊達郡大久保村 村長 古關 要作
伊達郡富田村 村長 菅野 藤之助
伊達郡福田村 村長 八卷 喜與八

青麻山中風靈藥

平町五丁目角
親切で買ひ良き店 山野邊藥局
藥劑師 山野邊東次郎

岩瀧 銘酒

優 銘 酒
福島市豐田町
釀造元 岩城屋和右衛門
電話四二五番

常磐礦業所

石城郡 赤井村
川瀨 幸治

科外

門專X
科線光
入院應需
上田外科醫院
平町南町 電話一三九番

酒 酪

植田町 古川 傳一
醸造元
電話十六番

酒 酪

植田町 古川 傳一
醸造元
電話十六番

赤心堂病院

平町字田町(電話四七五)
産科婦人科主任トシテ
醫學士野秋善直新任ス
院長 新妻 由五郎
主任 野秋 善直
主任 小林 四郎
主任 木下 寅市

警城セメント特約販賣店

和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番一三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷はの生命なり

釜屋商店

諸橋久太郎
電話九番一三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷はの生命なり

酒 酪

清 世界
醸造元 清水屋
小野 晋平
各炭礦御用達
小名濱町(電話六)

酒 酪

清 世界
醸造元 清水屋
小野 晋平
各炭礦御用達
小名濱町(電話六)

酒 酪

清 世界
醸造元 清水屋
小野 晋平
各炭礦御用達
小名濱町(電話六)

五月十日ヨリ診療開始
最新×光線装置
主任 醫學博士 難波 睦
副主任 醫學博士 賀澤 忠治
電話七二番
入院自炊、便アリ
看護婦募集
城警 共濟病院
平町電話六四一